

条例制定に対する取組み

<北見市>

・2008/06/27 行政との懇談会

【テーマ】「地域経済の活性化」～地場産業の振興と企業誘致～
【講師】北見市 産業振興課 係長 堀越 順巧 氏
北見市 産業振興課 主任 工藤 祥久 氏

・2008/07/23 行政との懇談会

【テーマ】「市の財政状況」
【講師】北見市 財政課 課長 置田 俊一 氏
北見市 財政課 係長 古山 康弘 氏

・2008/10/20 行政との懇談会

【テーマ】「ソーラーエネルギーの活用推進」
【講師】北見市 産業振興課 係長 土井 伸行 氏

・2009/01/27 補助・助成金活用セミナー

【講師】(財)北海道中小企業総合支援センター
相談担当部部长 加藤 玲 氏
中小企業基盤整備機構 北海道支部 北見オフィス
地域拠点支援専門員 椎名 慶和 氏

・2009/02/05 金融問題研究会

【テーマ】「中小企業融資はこう変わる」
【講師】北海道財務局北見出張所 財務課長 上田 悦弘 氏

・2009/04/28 中小企業振興条例勉強会

【テーマ】「地域を守り、支える中小企業！中小企業振興条例で地域を変えよう」
【講師】トーフ計装(株) 代表取締役 福井 克美 氏
<釧路支部政策委員長・釧路支部元支部長>

・2009/05/28 行政との懇談会

【テーマ】「北見市のまちづくり」～新しい総合計画について～
【講師】北見市企画財政部 企画課長 浅野目 浩美 氏
北見市企画財政部 企画課係長 宮川 真一 氏
北見市都市再生推進室 次長 浦 昌哉 氏
北見市都市再生推進室 主幹 渡辺 俊弘 氏

・2009/06/05 中小企業振興条例勉強会

【テーマ】「中小企業が地域を変える！振興条例が生み出した変化とは！！」
【講師】東洋農機(株) 代表取締役会長 渡辺 純夫 氏<帯広支部副幹事長>

・2009/08/05 北見の歴史を知る講座

【テーマ】「北見の歩み」～黎明期から今日まで～
【講師】久保 勝範 氏

・2009/10/10 中小企業振興基本条例勉強会

【テーマ】「中小企業が地域をつくる！振興条例の果たす役割とは」

【講師】焼鳥専門(有)ぎんねこ 取締役 久保 あつこ 氏

<旭川支部政策委員長・旭川市市議会議員>

・2009/8/5 北見の歴史を知る講座

【テーマ】「北見の歩み」～黎明期から今日まで～

【講師】久保 勝範 氏

・2009/10/21 北見の歴史を知る講座

【テーマ】野付牛とん田と北光社移民団

【講師】久保勝範氏

・2009/11/10 推進会議第1回会議

【議題】運営について、会に対する要望等の討論

1. 支部の政策関連学習への会員参加を拡げる

わかりやすく説明できる手法・資料を作成する。守代表理事のパワーポイントを参考に支部にあったものを作る

新旧条例の目的を比較検討する

2. 推進会議独自の学習会開催

現行北見市条例を学習し、条例は、「中小企業の現在の実態に即していない」「力を合わせて地域活性化に役立つ条例づくり運動を進めることが必要だ。

経済が冷え込んでいるとき、お互いが相談相手になれることが大事

わかりやすく簡潔な文書にして会員に渡すこと

3. オホーツク圏と北見市の中小企業を取り巻く自然的・社会的・経済的環境の調査・研究が必要

・2009/12/3 推進会議第2回会議

【議題】北海道同友会作成の条例資料(PPT)学習会

条例の支部内浸透策についての討論

<討論>

条例が変われば地域がどう変わるかを示す

市の中小企業政策を知ること

自社にとって切実な問題を出し合い学ぶべきだ

守代表理事のパワーポイントを参考に支部のパワーポイントを作る

旧条例と新条例の違いから学ぶ

もっとスピードを上げる必要がある。最終期日を明確にし、条例制定の手順を考え、示す

一般会員もわかりやすい会の名称にすべき。推進新会議のメンバーを増やすべき。

たとえば「新しい、元気の出る条例をつくろう」「会の名を短く」

市議に理解を求めるために、市議員にアンケートをとってはどうか

現行条例を市職員に説明させてはどうか。多少の地域性はあるが問題点は一緒だ

有志関係以外に必要なものを挙げてみる必要がある

現条例 時代に即していない。商店街の実情と乖離している。借りても返せない

・2010/1/25 推進会議第3回会議

【議題】帯広市・釧路市の新旧条例比較(読み合わせ)

各企業の現状・対策・見通しについて意見交換

<論議>

身近な事例が欲しい
成功事例を追うのではなく、今ない横の連携をつくる
会議所と意見交換会を開催するのはどうか
小企業憲章の精神は素晴らしい。北見市でも精神を反映させるべきだ
現在の諮問機関は稼働しているのか。機能していない
県単位での条例を制定しているのか知りたい
会内での浸透策を考案すべき

・2010/2/11 推進会議第4回会議

【議題】実態調査(アンケート)について

条例制定のプロセスについて

<論議>

懇談、会員への周知
推進委員の増員
支部として公式に関係団体と接点を持つ
市議選を活かしたい 全候補者に対して訴えかける
内部で理論武装する必要がある
簡単な資料作成
映像資料の作成
例会時は必ず条例のPRをする(委員長もしくは委員)
具体的ロードマップの作成
同友会メンバーに対するアンケート調査を行ってはどうか 反面、なぜ今の時期にやる必要があるのかとの意見もあり
今後の動きについて
(1) 条例周知の資料を作成
(2) 市議選を活かす 3月21日公示、28日投開票 全候補者に対して要望を書面で送る(3月15日発送)
(3) 条例制定に向けたタイムスケジュールの作成
(4) 商工会議所への公式アプローチ

・2010/3/5 推進会議第5回会議

【議題】市議候補者に対する同友会の要望について

実態調査(アンケート)の具体化

<論議>

市議候補者に対する要望の具体化

・2010/4/7 推進会議第6回会議

【議 題】市議に対する要望

< 論議 > 今後の対外的活動について

3月15日に市議候補者に対して同友会の要望として文書を送った。再度文書を送る 要望(改訂版)と支部総会(講演会のみ)の案内*4月8日、9日中に送る

4月22日の総会では守代表理事がなぜ条例制定運動を進めるのか、問題提起いただく 市役所職員、商工会議所、留辺蘂商工会議所、きたみ市商工会にも参加を呼びかける

今後どのような内容の学習会を進めるか。いつからビデオ製作について

・2010/4/22 支部総会

【テーマ】「中小企業振興基本条例」～なぜ全国の同友会が制定運動に取り組むのか～

【講 師】(社)北海道中小企業家同友会代表理事 守和彦氏<(株)ダテハキ取締役会長>

・2010/5/12 推進会議第7回会議

【議 題】「進捗状況の確認と今後の学習会開催について」

< 論議 >

他の経済団体と一緒に進める必要がある

「基本」というところが重要

市、商工会議所の方がどれほど条例の必要性を感じているか

総会に出席した来賓の反応を調査する必要がある

・2010/6/4 推進会議第8回会議

【総会に出席いただいた方々の反応】

北見市：かなり皆さん研鑽を積んでいると感じる。各地の先駆事例等をもっと勉強したい

北見商工会議所：率直な感想として、中小企業家が必至に勉強しているという印象。トップに上申するのも必要だが、担当者レベルでの協議は予めあってしかるべき。密な関係を持ちたいものだ。

留辺蘂商工会議所：同友会が制定をすすめている振興基本条例は、具体的な内容に乏しい。しかし、具体性がないにも関わらず各地で施行され、制定運動が活発化しているのは評価すべき点ではないか。商工会議所としては賛同できるものだ。

きたみ市商工会：はじめて概略を聞いた。各地で動きが活発化しているのも理解できた。今後の議論になるだろうが、では具体的に条例で何をするのが重要か。きたみ市商工会としては、2010年度の重点項目としているので、この問題に関しては研究したい

【今 後】

北見商工会議所との正式コンタクト

正副支部長と委員長が話をする

日程調整

会談

・2010/8/9 推進会議第9回会議

【報告】海田幹事長と事務局が商工会議所を訪問。再度条例の中身について話す市との積極的な折衝を持つべきだ

【議題】条例骨格について

次回までに前文と目的を文章化する

前文と目的を文章化し、次回会議で討議する。委員長が原案を作成するが、事前にメンバーに送付し会議に臨む

現行条例と振興基本条例の関係（改正か新条例か）

要望書は「振興会議（仮称）設置」に特化したほうがいいのか

議員との接点はもう少しあとにすべきではないか

・2010/8/17 推進会議第10回会議

【議題】条例前文と目的の検討

<論議>

札幌の前文「中小企業の振興が札幌の発展に欠かせないものであるという認識を、企業はもちろんのこと、まちづくりの担い手である市民や行政も共有することが何より大切である」のように、北見市の発展には中小企業が欠かせない存在であると強調したほうが望ましいのではないか。

中小企業が地域経済を支えているのは間違いない

条例が策定されれば市は条例に基づいて動くことになる。はっきりと謳ったほうがよい。

長谷川さんの案に上記事項を組み入れることで力強くなる。

皆の意見を取り入れるというのであれば、時間はかかっても再度皆から意見をもらったほうが良いのでは。

先日、市の小林部長の意見を商工会議所の山崎専務を通じて聞いた。条例について、北見市としてのスタンスは、一つの団体からの要望を受け入れて物事を進めていくことはできない。各団体からの要望があって動く。議会も同様。会議所としては最初に市と同友会で原案をつくり上げたあと、北見市主導で各団体が集う流れがよいのではないかとのこと。現行条例の廃止か改正かは見えていない。それよりも、北見市と同じ卓につくことが先決。

まずは、先駆事例を持って行って、北見市でもこのような条例を作りたいと持ちかけるべき。そこで条例案はあるかと聞かれたら案を作るほうが良いのでは。

たしかに。聞かれたときにすぐに出せる状況にしておく必要はある。

4月の要望書が良くまとまっている。このように同友会としての思いをまとめるべきだ。一般会員はわからないケースが多い。一般会員にも伝えることができるような形を用意したほうがよい。

今まで行政の係長が数回学習会に参加し、意欲的に学習している。先駆地の文案を持っていくのもいいが、腹案として考えておく必要がある。

将来的に共同提案という形で商工会議所、商工会に持ちかけることはできても、最初から全てが同じ卓でということには難しい。支部長のお話の通り、最初は市と同友会でアウトラインを模索し、ある程度の段階から各商工団体に声をかけるということができるのではないかと。実務レベル（市役所課長と同友会委員長、事務局）が密に話し合いを持つ必要がある

同友会から市に対して会議の設置等要望書を提出してもいいと思う。そこではじめて何らかの動きができるはず。それに備えて腹案を用意しておくべき。

・2010/9/2 推進会議第11回会議

【報告】

8月30日に大嶺政策委員長が北見市の岡田課長を訪問した。

<骨子>

- ・9月議会後、年内までの間に市と同友会とで、将来的な条例制定に向けた会議体構築を模索
- ・現在ある北見市産学官連携協議会を母体とし、どこまで参集範囲を広げるか
上記2項目についてはまだ庁内、議会での説明はないのであくまでも 岡田課長の見解
- ・同友会がここ数年進めてきている学習会等、非常に評価している。今後も企画があれば積極的に参加したい。
- ・同友会が単独で要望書を出すことについては、問題ないのではないかとのこと。市長宛「市民の声を聞く課」通じて可能。ただ、提出前に岡田課長に文書を持っていくことが望ましい
- ・市のスタンスとして1団体のみとの密な関係は望ましくない。

【議題】要望書の検討

<事前配布した長谷川さんの前文案と新たに提出された山田さんの案を用いての討議>

合併後の「新北見市」に即した内容であった方がいい。水産等
地域内の循環を促進するというのは重要な要素であり、中小企業が声を上げて推進することを盛り込んでどうか。

山田さんの案と長谷川さんの案は言い回しが多少違うだけで、伝えたいことはほぼ同一。うまくまとめたい。

前文に何を盛り込むのかを再度整理した上での討議があるべき。文言が良い悪いの議論にならないようにしたい。文章決定ではなく、様々な意見を集約したほうが望ましい。

* 前文に盛り込みたいことを討議 *

北見の環境と歴史を表現する(歴史的背景)

一次産業が北見発展の礎になっている(北見の産業発展経緯)

北見における中小企業の役割(雇用、市民生活)

経済環境の変化に伴い、中小企業の経営環境も変化(少子高齢化、ボーダレス化、人口減)

今日の課題(財の地域内循環、雇用、まちづくりの担い手)

中小企業の振興が地域経済に多大な影響を与えることを、もっと力強くはっきりと表現する。(将来に対して)

一次産業と中小企業の関連性について謳う 地域経済の振興は中小企業の振興だけでは成し得ないことを謳う。

より説得力を持たせるために、年号等数字的なものは盛り込むべきではないか。文章に関しては委員長に一任。

<盛り込んでほしいことについて>

行政の継続性・連続性の必要性について謳う

釧路市の市役所円卓会議のような会議体設置を謳う

中小企業担当部署設置を謳う

財政上の措置を講じて欲しい旨を謳う

生徒の職業観の醸成だけではたりないのでは

<その他>

条例推進会議が中心になることは望ましい。皆で創りあげるという意識、より多

くの支部会員の皆さんに周知させる方法を模索すべきではないか。

次回条例推進会議に参加していただくように働きかける。例えばアンケート
ト
例会等での周知

・2010/9/23 推進会議第12回会議

< 論議 >

要望書に添付することにより、「こういう条例をつくれ」というニュアンスで捉えられるのではないか？

下から3行目、「街づくり」「まちづくり」

希望に満ちた活力にあふれる北見市にするためには、中小企業の振興が欠かせないものであるという認識を、行政・中小企業者はもとより、街づくりの担い手である市民が持つことが大切です。赤字の方がいいのでは
今後の北見市発展に対して一次産業との関連性を入れるべき
(7)に関して、「職業体験」だけではなく、幅広い意味合いを持たせた方がよい。

頑張っている 別の表現を考えてはどうか

中小企業振興基本条例を望む 中小企業振興基本条例制定を望む

2段落目 流れが不自然ではないか。間に何かワンクッション必要ではないか。

「認識することができました。」と「同時に、・・・」のつなぎ

2段落目、「中小企業経営者の間では」「当会オホーツク支部会員」「当会会員を中心中小企業経営者・・・」など

改正基本法と憲章の動きがあるからこうなっているというスタンスだけでいいの

現行条例を強化するという表現を入れてはどうか

3段落目、「まず第一に中小企業について考える」違和感。地域性の問題、事実と違う

4段落目と3段落目の入れ替え、事実としての基本法改正 「また・・・」

最終段落、2文に切った方がいいのではないか

・2010/10/4 要望書文書検討会議

【議題】北見市への要望書提出に向け、要望書・条例に盛り込んで欲しいことについての最終
討議

・2010/10/19 条例推進会議第13回会議

< 意見交換 >

会員内の理解度を知る必要があるのではないか

外部に広報することがいいことかどうか。他支部はどうなのか。いいことであれば踏襲してもいいのでは

メーリングリストで告知、例会後のPR

広報に中小企業家しんぶんを活用できないか

要望書を提出したことはすぐに知らせる必要がある

商工団体、市議に対しても同友会が要望書を提出したことを報告

次回会議でさらに討議する

(社)北海道中小企業家同友会

オホーツク支部

・2010/10/27 要望書提出

・2010/11/15 条例推進会議第14回会議